

27年11月18日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後2か月以内】

団体名 滝の入 = 区自主防災組織

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するための活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

滝の入 = 区自主防災組織 設立10周年記念シンポジウム

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもの可。

3.11東日本大震災発生から4年8ヶ月の歳月が経ちました。今日、被災地は産業再生や災害公営住宅、集団防災移転など住宅再建に取り組み復興への姿が少しずつ見えて来ます。一方、時間の経過とともに、防災・減災への意識も薄れていくのが現実であります。私たちを取り巻くこの厳しい環境の中で、市民一人ひとりの防災力向上と防災教育の大切さが強く求められております。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもの可。

「災害に強い安心を暮らせる地域づくり」

第1部基調講演 自然災害から命を守る～「互助の精神と防災隣組」～

講師 防災システム研究所 所長 山村 武彦 氏

第2部パネリストセッション 防災・減災を一緒に考える～はじめの「自助・互助の実践」～

パネリスト 6名

滝の入 = 区自主防災組織から多くの市民、関係団体に防災・減災の重要性を発信出来たと感じます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

自主防災組織設立10周年記念事業 実施により、地域社会における防災・減災への取り組みの動向が明らかになり、この思いが伝わりました。当初の予定では、防災システム研究所 所長 山村武彦 様の講演のみと想定していましたが、各分野6名の有識者の方の参加もいただき、はじめの「自助・互助の実践」をテーマにしたパネルディスカッションを通じて情報共有と地域防災の重要性を認識していただくシンポジウムとして実施いたしました。来場者の方から大変すばらしい企画であったと称賛の声を多く寄せられ、メディアを通じてシンポジウムの内容が報じられ、これからの地域防災力の向上に役立てていただくことと確信しております。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

3.11東日本大震災、未曾有の被害を体験した4年8ヶ月に過ぎた今日、地域社会の繁栄の課題として「自然災害への備えをどうするのかが重要」と感じます。

今回、自主防災組織設立10周年記念事業「災害に強い安心を暮らせる地域づくり」のシンポジウムの開催は時宜に叶うものとして、その意義は大変重いものがあると強く認識しております。市民のみならず、来場者として、災害時における隣近所での助け合い、支え合いの大切さを学ばれた。当該シンポジウムを契機にこれからの地域における防災・減災活動がさらに継続し発展することを期待しております。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり。特になし

滝の入二区自主防災組織 設立10周年記念シンポジウム

～災害に強い 安心して暮らせる地域づくり～

日時 2015年10月11日(日) 13:30～16:00

(開場 13:00)

場所 ゲストハウスアーバン 気仙沼市本郷 22-5

第一部 基調講演

自然災害から命を守る ～「近助の精神と防災隣組」～



☆主な略歴

学生時代、新潟地震（1964年）でのボランティア活動を契機に防災アドバイザーを志す。以降、現場主義（真実と教訓は現場にあり）を掲げ、地震、津波、噴火、水害、竜巻、土砂災害、事故、事件等 250か所以上の現地調査を行う。阪神・淡路大震災（1995年）発生時は2時間後に現地入りし、救助活動、調査活動を行う。近年も東日本大震災、オクラホマ竜巻災害、フィリピン台風30号災害、広島土砂災害、ネパール地震などの現地調査を実施し、写真レポートをサイトにアップしている。実践的防災・危機管理の第一人者といわれている。

現在、執筆、講演活動、マスコミ出演等を通じ防災・危機管理意識啓発に活躍中。

講師 防災システム研究所 所長 山村 武彦 氏

第二部 パネルディスカッション

防災・減災を一緒に考える ～はじめよう「自助・共助の実践」～

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 高橋 義宏（気仙沼市総務部危機管理課） | 防災計画への取り組み |
| 佐藤 和志（気仙沼市社会福祉協議会） | 福祉と防災の結びつき |
| 畠山 政明（鹿折小学校防災担当主幹教諭） | 防災教育の現状 |
| 近藤 公人（階上地区振興協議会） | 自主防災組織の活動状況 |
| 塩飽 孝一（京都大学）・栗原 誠（NPO法人 SEEDS Asia） | 外部組織との連携 |

主催 滝の入二区自主防災組織・滝の入二区自治会

後援 気仙沼市・気仙沼市教育委員会・気仙沼市社会福祉協議会・気仙沼消防署・気仙沼市消防団・NPO法人 SEEDS Asia・気仙沼中央自治会連絡協議会・気仙沼市自主防災組織連絡協議会

お問い合わせ先 TEL 0226-22-4579 (臼井 弘)

